



横須賀市議会議員

大野 忠之

教育福祉常任委員会

予算決算常任委員会（教育福祉分科会）

農業委員会

市政報告 第03号（平成24年01月）

「ありがとうよこすか」

大野忠之事務所

〒238-0024 横須賀市大矢部 3-1-3

TEL : 046-838-6571 FAX : 046-838-6573

URL : <http://www.ohno-tadayuki.com>

新年あけましておめでとうございます。

昨年日本列島は東日本の大震災をはじめ、多くの自然災害の被害がありました。あらためて被災者、被災地の皆様にお見舞いを申し上げ、一日も早い復興、復旧を祈念します。

さて昨年の活動を振り返りますと、5月より新人議員としてまず市政の現状把握をするため勉強させていただきました。勿論、自分である程度の市政に対する現状把握はできていたつもりでしたが、まだまだ深く勉強をしなければと実感しています。

市政を行う上で最も重要な現在の横須賀市の財政状況は**3,000億円**以上の市債を抱え、**市民の市債負担**は一人**714,957円**です。決して健全経営とは言えませんが、経営破たんを起こす状況ではありません。しかし、将来の状況を考えると多くの不安があります。人口の減少は神奈川県下ではここ数年来ワースト1、2の状況です。

平成22年度末の人口は**417,847人**でした。平成4年の最多人口数**435,337人**以来、年々減少し続けています。平成22年度の経常収支比率は**95.4%**でした。この数値が低ければ低いほど市民サービスにお金が使えます。

【経常収支比率表】 ※経常収支比率とは、毎年経常的に収入されるお金が、経常的に支出されるお金のどのくらい使われたのかを示した数値です。

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
横須賀市	83.6%	84.6%	86.1%	86.6%	96.8%	94.5%	96.4%	95.8%	97.3%	95.4%
県内市平均	84.0%	87.2%	87.7%	88.3%	88.9%	88.0%	90.9%	92.4%	94.1%	94.5%

市長は今年の目標を企業誘致、観光における集客の促進、定住促進としました。これは昨年同様ですが具体的に何をやるかはまだ聞いていません。しっかりとチェックしたいと思います。

今回は市が行ったアンケートから、5つの項目について結果をご紹介します。このアンケートは平成23年に15歳以上の横須賀市民を無作為に選んで行ったものです。その中から「経済、財政、教育」に関わりの強い部分を抜き出しました。

【市民が優先度が高いと考える項目】 ※（ ）は現在の横須賀市はそれが出来ていると思うか。

- ・子どもを産み育てやすいまちづくり 61.9%
(思う：13.1% やや思う：25.1% どちらともいえない：25.6% あまり思わない：23.1% 思わない：13.1%)
- ・安全で安心なまちづくり 61.6%
(思う：12.2% やや思う：32.6% どちらともいえない：22.5% あまり思わない：20.0% 思わない：12.7%)
- ・地域経済の活性化と雇用の創出 49.8%
(思う：6.9% やや思う：13.3% どちらともいえない：25.5% あまり思わない：32.2% 思わない：22.1%)
- ・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり 34.7%
(思う：10.4% やや思う：26.6% どちらともいえない：24.5% あまり思わない：24.5% 思わない：14.0%)
- ・人間性豊かな子どもの育成 21.0%
(思う：9.4% やや思う：22.0% どちらともいえない：35.3% あまり思わない：23.2% 思わない：10.1%)